



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

新刊案内



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

2017年4月上旬発売

“小田急”に続く鉄道沿線史第2弾 !!

エコーする〈知〉

京王沿線の近現代史

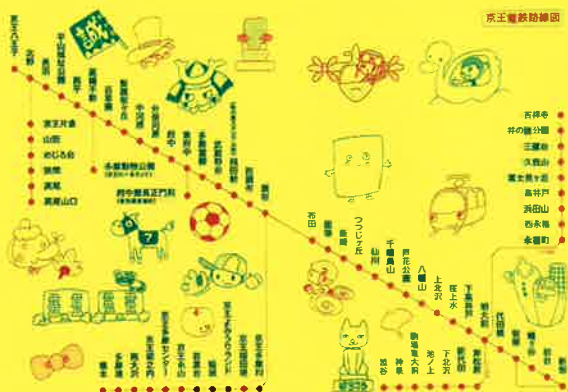
- 永江雅和（専修大学教授） ●体裁:A5判・並製 約175頁 【CPCリブレ No.6】
- 定価:1,944円（本体1,800円+税） ISBN978-4-908823-15-2 C0021

鉄道敷設は地域に何をもたらしたか。京王沿線の魅力を写真・図・絵葉書入りで分かりやすく解説。知られざる京王線の謎が今解き明かされる。

- 【特色】 1. 今までにない鉄道史のアプローチ〈土地〉からの視点 2. 鉄道敷設と用地買収の知られざる歴史 3. 鉄道からみた明治・大正・昭和地域開発史 5. 郊外観光開発
6. 写真・図・絵葉書でさらに沿線をメイクドラマーわかりやすく読みやすい鉄道物語に

【目次】

- 第1章 京王沿線の歴史を知るためのキーワード
 - 第2章 副都心新宿の形成と京王線
 - 第3章 玉川上水沿いを走る京王線—渋谷区旧代々幡村地域の事例
 - 第4章 近郊農村から高級住宅地へ—京王線と世田谷の風景
 - 第5章 環状鉄道の夢の跡—帝都電鉄から井の頭線へ
 - 第6章 「東洋のハリウッド」—京王線と調布市
 - 第7章 南下する玉南電鉄—府中市と京王線
 - 第8章 聖蹟とニュータウン—京王線と多摩市
 - 第9章 稲田堤の桜と多摩丘陵の開発—相模原線と川崎市・稲城市
 - 第10章 動物園がやってきた—日野市と京王線
 - 第11章 御陵線から高尾線へ—京王線と八王子市
- あとがき 関連年表、参考文献付。



【口絵:カラー】

第7章関連：「京王線の府中駅に関するエピソード」

東京・府中。古代武蔵野国の国府跡にある大國魂神社は「聖域」だ。緑豊かな境内とケヤキ並木の参道が、どれほど尊いかというと「建設当初の京王線は、参道の横断を控え、道の両側に駅を作り、乗客は乗り換えを強いられた」という話があるほどだ。確かに1925年から3年ほど、府中駅は二つあり、直通列車もなかった。

ところが、参道をはさんだ駅を示す写真は京王社内を含め一枚もない。「重い貨物まで参道をはさんで積み替えたとは思えない。中略。当時の駅設計図や地番を示す資料が新たに見つかる。両駅は隣接し、レールは最初から参道をまたいでいた。建設時の京王線は府中をはさみ違う会社が運営し、線路の幅も違った。線路幅を統一し、直通運転できるまで、駅が分かれていただけだったのだ。中略。「線路の幅」ではなく「聖域」にこそ伝説は宿る。—2017年2月6日毎日新聞【憂楽帳】「聖域と伝説」より

- 好評既刊 永江雅和著『小田急沿線の近現代史』本体1,800円 ISBN978-4-905388-83-8 C0021
- クロスカルチャー出版 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-7-6 電話03-5577-6707 ファクス03-5577-6708

書店印	発行：クロスカルチャー出版 TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708		
	<h3>京王沿線の近現代史</h3> <p>■定価:1,944円(本体1800円+税) ISBN978-4-908823-15-2 C0021</p>		
ご担当者()	冊	お名前	お住所
			電話